

本年度の目指す生徒の姿

- 自分のよさや強みに気づいて、それを学校生活の中で発揮する生徒
- 目的意識や進路の自覚を深めて主体的に学び、学ぶことの楽しさを見出す生徒
- 様々な立場や考え方を尊重し、他者と協力して活動に取り組む生徒
- よい習慣や行動を身につけ、心と身体のバランスを保ち、健康を増進する生徒

取組の視点

生徒

- 「産業社会と人間」の意義を確認し、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動等との有機的なつながりを意識しながら生徒の「自分探しの旅」を支援する。
- 生徒の主体的な活動を促し、自己有用感を育む学校行事や諸活動の活性化を図る。
- 生徒一人一人のよさや強みを認め励まし、自己肯定感を育む。

教職員

- 積極的な関わりにより生徒理解に努め、悩みや問題への指導・支援につなげる。
- 原点に戻る（ねらいの意識化・明確化）。
- 優先順位、働き方改革と業務改善、ワーク・ライフ・バランスを意識する。

評価項目 (具体的目標)	自己評価				学校関係者評価		
	評価の観点(具体的方策)		評価結果	改善された点及び課題と改善策	評価	ご意見・ご助言	
目標(1) 学びのある授業	1) ICTの活用や協働的な学びの実現により、生徒一人一人が主役となり、自ら課題を見出し解決に取り組む学びの実感の持てる授業を行う。	B	B	ICTの研修や、ICT支援員のアドバイスなどを、今後も継続して行っていく。 観点別評価の改善が進んでいるが、今後も研修を行ったり情報の共有を行うなどして、生徒の主体的な学びを支え、より適切なものになるように努める。	B	・ICTの活用の取組は進んでいると感じられます。 ・基礎基本の定着のためのドリル的なアプリを活用した学習、スタディサプリを活用した予習の学習で学習意欲向上を。 ・これからの時代活躍できる人材の育成のためにも、ICTへの親和性を高める取り組みやデジタル新技術に触れるような取り組みを期待します。	
	2) 生徒の主体的な学びの活動をしっかりと「みとる」ことができるようにするため、教師自身が「学び、学び合う」ことによって観点別評価の充実を図る。	B			B		
目標(2) 居甲斐のある学校生活	1) 学校行事、部活動、生徒会活動への積極的な参加を促し、活動する喜びを体験させ、充実感や達成感を味わわせるとともに生徒の可能性を伸ばす。	B	B	青南祭を、生徒主体で取り組めるように支援する。 また、部活動の加入率改善や、特別活動での生徒の活躍できる場を増やすための取り組みも検討する。	B	・総合学科発表会では、男子生徒も発表ができるように期待しています。 ・文化祭は計画立案の段階から生徒主体で行うことで、ものごとを論理的に試行する大切なスキルが身に付きます。 ・重点的な部活動の育成を進める。 ・人生の中でたった3年しか無い高校生活が、将来かけがえのない思い出となるように、授業以外の取り組みでも充実したものになることを期待します。	
	2) 集団の中で各人の役割意識を高め、責任ある生徒を育てるとともに、人権や多様性を尊重し合う集団づくりに取り組み、いじめの未然防止を図る。	B			B		
目標(3) 「自分探しの旅」と進路実現	1) 「産業社会と人間」を中核としたキャリア教育の充実を図り、自己実現に向けた進路に必要な科目選択の指導、支援を適切に実施する。	B	B	教育課程の見直しを図ったが、今後も生徒の希望や実態に合わせて変更を検討する。社会の変容や生徒の教育的ニーズによっては、これまでの実績にとらわれずに大胆な変更を検討することも考える。	B	・生徒の希望の科目がとりやすくなると良いですね。 ・総合学科が南高の最大のセールスポイントです。発表会には、地元企業の方にも参観していただいてもよいのでは。 ・自分自身がなりたい大人になるための動機形成や将来の進路を意識した選択ができるように生徒それぞれに寄り添った指導を期待します。	
	2) 進路に関する行事や個別指導を適切に実施し、一人一人の職業観・勤労観を育て、生徒の強みを生かした進路実現を図る。	B			B		
目標(4) 心と身体の健康	1) 教育相談体制の充実を図り、生徒や保護者が抱える問題や悩み等について、教職員間の情報共有やSC・関係機関との連携を通して組織的な支援を行う。	B	B	いじめ対応については、学期に1回は調査を実施し、校内の研修も今年度同様に実施していく。 特別指導や学年指導を通して、社会自立に向けた心を育てる指導を実施したい。	B	・今は、少しのいじめも気をつけないと、という社会になり大変だと思います。 ・足利市では人権教育を大切にしながら教育活動を実践しています。思いやる心を育ててください。 ・人生の中でたった3年しか無い高校生活が、将来かけがえのない思い出となるように、授業以外の取り組みでも充実したものになることを期待します。	
	2) 保健指導・清掃指導・安全指導等の徹底を図り、安全管理体制をより一層強化し、安全で健康的な生活を維持・向上させる。	B			B		
目標(5) 安全・安心な学習環境	1) 学校教育活動における安全確保のため、施設や環境の安全確認の徹底による事故の未然防止を図り、また事故発生に備えた体制作りにも努める。	B	B	生徒の安全確保を第一とする。生徒の安心な学校生活のため、引続き、マナーアップ週間や立哨指導を行っていきたい。	B	・全体的に生徒のみんなは良い子だと感じました。 ・自分の命は自分で守る「自助」、みんなの命はみんなで作る「共助」、を実践してほしいです。 ・規則正しい生活を送っているように見える。 ・校内生活の安全確保はもちろんですが、登下校中の自転車の安全指導など、取り組みの強化を期待します。	
	2) 日頃の生徒観察、声かけ指導等により、事故防止や問題行動等の未然防止を図る。	B			B		
目標(6) 開かれた学校・地域との連携	1) HPの更なる充実など本校への理解を深めるための情報発信の強化を図る。	B	B	今以上に、中学生向けのコンテンツを充実させるなどし、本校の魅力を発信していきたい。 学校運営協議会となったことで、委員の方々には積極的に学校に関わってもらいたい。	B	・楽しく学べる学校のイメージ発信に期待しています。 ・総合学科にDX/ハイスクールの政策効果を盛り込んだアイデアを思考し、外部にどんどん発信してほしい。学社連携も重要ではないか。 ・外部に向けた安心安全で積極的な生徒の活動をアピールする。保護者に総合学科のことを理解させる方法及び機会を多くもうける。 ・近隣中学校と連携した取り組み(授業やイベントなど)を実施するなど地域との繋がりを強化し、地域から支持される学校となるような取り組みを期待したい。	
	2) 地域・PTA・同窓会・関係団体等との連携やボランティア活動・国際交流への参加について、各種活動を活性化していく。	B			B		